

2017年9月26日

博報堂「ソロもん LABO^{*}」、慶応義塾大学・前野教授、m-gram ラボと協働で 独身生活者の幸福につながるマッチング研究『つながるぼっち』を開始

※～ソロ男プロジェクトから名称変更し、益々研究対象を拡大～

株式会社博報堂（東京都港区、代表取締役社長：水島正幸、以下博報堂）の「ソロ男プロジェクト」は、この度、幸福学の研究に携われる慶応義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科ヒューマンシステムデザイン研究室（神奈川県横浜市）の前野隆司教授と、統計学に基づく大規模な性格診断「m-gram」を開発した株式会社 m-gram（東京都渋谷区、松村有祐代表）内の m-gram ラボとの三者協業で、『つながるぼっち（＝独身生活者同士のつながり）』をテーマにしたプロジェクトを始動しましたので、お知らせします。

また「ソロ男プロジェクト」は、これまで自由で自立したライフスタイルを謳歌する单身・独身男性「ソロ活動系男子（通称：ソロ男）」の研究活動及び企業のマーケティング活動をしてまいりましたが、未婚率・離婚率の上昇や高齢独身者の増加など、2035年には独身者が人口の5割、単身世帯も4割弱という「超ソロ社会」になることから、この度、研究対象を、独身男女や離別・死別に伴う高齢独身者も含めた独身生活者全般に拡大しました。それに伴い、名称も「ソロ男プロジェクト」から「ソロもん*LABO」（*ソロもん＝独身生活者という意味）と変更いたします。

「ソロもん LABO」は、ソロ社会だからこそ、従来の家族や職場以外での「人とのつながり」が重要で、それが個人の幸せにも影響すると考え、個々人の内面意識を分析し、意識や価値観などの「考え方でつながる」仕組みづくり、場づくりを模索・実現し、「ぼっち」であっても社会的に孤立しない関係性のあり方を研究してまいります。

本協働プロジェクトは、そうした課題をテクノロジーによって解決する施策のひとつとして、約400万人の性格診断データを保有する m-gram ラボと共同して、個人の内面意識による相性マッチング分析研究などを行い、「独身生活者同士のマッチング（主に友人関係・職場人間関係）や、独身生活者と仕事とのマッチング（就活・適職選び）、独身生活者とモノとのマッチング（書籍や映画等コンテンツ・趣味やレジャー等）など、独身生活者の幸福につながる研究、検証も行ってまいります。また、研究と並行して、セミナーやワークショップ、体験イベントを三者で協業しながら実施し、将来的に AI の活用含めた「独身生活者同士のつながりと幸せ」の可能性を模索していきます。

【本件に関するお問い合わせ】

博報堂 広報室

大久保

TEL：03-6441-6161

【プロフィール】



荒川 和久 (あらかわ・かずひさ)

早稲田大学法学部卒業。博報堂入社後、自動車・飲料・ビール・食品・化粧品・映画・流通・通販・住宅等幅広い業種の企業業務を担当。キャラクター開発やアンテナショップ、レストラン運営も手掛ける。独身生活者研究の第一人者として、テレビ・ラジオ・新聞・雑誌・WEB メディア多数出演。著書に『結婚しない男たち 増え続ける未婚男性ソロ男のリアル』（ディ スカヴァー携書）『超ソロ社会 「独身大国・日本」の衝撃』（PHP 研究所）がある。



前野隆司 (まえの・たかし)

東工大卒。東工大修士課程修了。キャノン株式会社、カリフォルニア大学バークレー校客員研究員、ハーバード大学客員教授、慶応義塾大学理工学部教授などを経て、現在、慶応義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科教授。博士（工学）。研究分野は、幸福学、幸福経営学、イノベーション教育、システムデザインなど。著書に、『幸せのメカニズム』（講談社現代新書）、『幸せの日本論』（角川新書）、『脳はなぜ「心」を作ったのか』（ちくま文庫）、『実践 ポジティブ心理学』（PHP 新書）など多数。



松村有祐 (まつむら・ゆうすけ)

人工知能の研究者。北海道大学で博士号（情報科学）を取得。現在の人工知能研究をリードしているIBMのワトソン研究所（米国）の客員研究員を経て、現在株式会社 m-gram のCEO。

※m-gramとは？

2017年4月にリリースされた「マッチング」に特化した性格分析プログラムで、105問に答えるというハードルの高さにもかかわらず、400万人以上が参加し、SNS上で話題となった。AI開発者による本格的な統計学に基づく診断であり、性格診断に基づく「人と人とのマッチング」や「人と企業とのマッチング」などを視野に入れている。

新ロゴ

